

## 保証書(持ち込み修理)

型名 KTK-370

製造No.

お客様	ご住所	〒 電話									
	お名前	ふりがな									
保証期間	お買い上げ日	年	月	日	本体年	年	月	日まで			
販売店	電話										

修理実施日	修理内容	担当者

販売元 株式会社ヒロ・コーポレーション  
〒800-0236 福岡県北九州市小倉南区下貫2丁目7-1  
TEL:0120-123-187

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

●お客様窓口：TEL: 0120-05-1783

携帯電話の場合は下記へ

TEL:092-408-6261

(受け付時間:9:00~17:00<土、日祝祭日除く>)

Eメール:supportkom59@gmail.com

●サービスセンター:(株)KOM 福岡市南区清水1-25-10  
TEL:092-408-6261

輸入発売元：(株)KOM 〒815-0031 福岡市南区清水1-25-10 TEL:092-408-6261

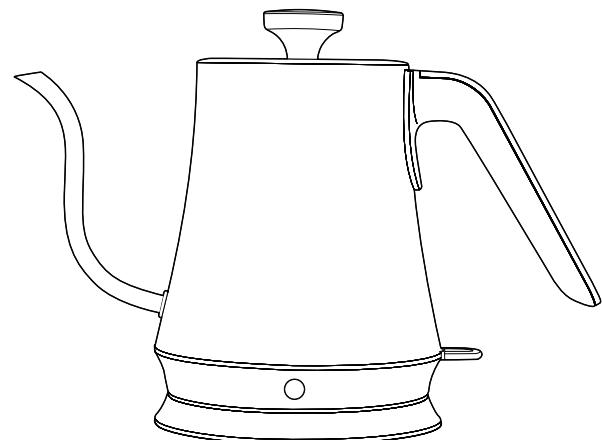
## 取扱説明書

# KTK-370

## グースネックケトル (家庭用)

**[保証書付]** 保証書は、取扱説明書の裏表紙についております。  
販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

この度は、グースネックケトル (KTK-370) をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。また、本取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。



※この商品は水を沸かすためのものであり、水以外は沸かさないでください。

※この商品は火にかけられません。

直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せることはできません。

※この商品は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけ沸かしてください。

目次	安全上のご注意	1~3
	お願いとご案内	4
	各部の名称	5
	使い方	6~8
	お手入れ	9
	日常のお手入れ	10~11
	このような時は・仕様	12
	MEMO	13
	保証とアフターサービス	14
	保証書	15

# 安全上の注意

- ご使用の前にこの「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
  - ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危険や損害を防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

<b>⚠ 警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	<b>⚠ 注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。
-------------	--------------------------------------	-------------	--

※物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

禁止図記号	指示図記号
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

## ⚠ 警告

	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。 ※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
	15A以上のコンセントを単独で使ってください。 ※他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火することがあります。  AC100V以外では使用しないでください。 ※火災・感電の原因になります。
	製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を停止し、電源コードを抜いてください。 ※重大な事故につながる恐れがあります。

## ⚠ 注意

	電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントへの差込みがゆるいときは使わないでください。 ※感電・ショート・発火の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※感電やショートして発火することがあります。

## ⚠ 注意

	電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。 また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	カーテン等の燃えやすいものの近くで使わないでください。 ※火災やけがの原因になります。
	続けてお湯を沸かす場合は、20分以上はスイッチを切って休ませてください。 ※休ませず動作すると、正常に沸騰しない場合があります。
	強い衝撃を与えないでください。 ※破損して感電やけが、やけどの原因になります。
	濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。 ※感電やけがをすることがあります。
	壁や家具の近くで使用しないでください。 ※蒸気や熱で壁や家具を傷め変色、変形の原因になります。
	本体に牛乳や酒、コーヒー、など水以外のものを入れないでください。 ※故障や異臭の原因になります。
	ケトル内でインスタント麺やレトルト食品などを温めないでください。 ※故障や異臭の原因になります。
	0.3L(MIN)以上の水で沸かしてください。 ※水が少なすぎると故障の原因になります。
	1.0L(MAX)以上の水を入れて使用しないでください。 ※ふきこぼれてやけどの恐れがあります。
	電源プラグの刃及び刃の取り付け面にはこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。 ※火災の原因になります。
	電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込んでください。 ※感電・ショート・発煙・発火の原因になります。
	使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※けがやけどの、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	使用中や使用直後しばらくは高温部に直接触れないでください。 ※やけどの原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。 ※やけど・事故に繋がる恐れがあります。
	お手入れは冷めてから行ってください。 ※高温部に触れ、やけどの恐れがあります。
	蒸気に手を触れないでください。 ※やけどをすることがあります。特に幼児に触れさせないでください。
	空焚きしない 本体に水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因になります。

## 安全上のご注意

### ⚠ 注意



ケトルを持ち選ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持つ

ケトルが落下したり、湯がこぼれたりして、けが、やけどの原因になります。



不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

高温部に触れるとやけどの原因になります。



壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



ケトル本体は湯沸かし以外の用途で使わない

水を入れて保冷用に使わない

感電、故障などの原因になります。



ケトルは電源ベースの中央にしっかりと載せる

転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



専用の電源ベース以外は使わない  
また、電源ベースは他の機器に転用しない  
発火、故障などの原因になります。



使用以外は、電源プラグをコンセントから抜く  
けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く

感電、ショート、発火の原因になります。



ふたを開けるとき出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。



異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

やけどの原因になります。



電源ベース中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない

ショート、感電、故障の原因になります。

## お願いとご案内

ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。  
故障の原因になります。

余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

水以外のものを沸かさないでください。  
故障や汚れの原因になります。

ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。  
表面を傷めます。

お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、およそ8分30秒です。

食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。  
変形の原因になります。

残り湯は捨ててください。  
放置すると変色・腐食の原因になります。

洗剤を使わないでください。  
においの原因になります。

本製品は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけ沸かしてください。

ケトル内部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。  
汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

長時間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

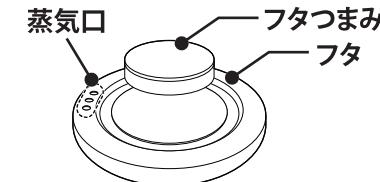
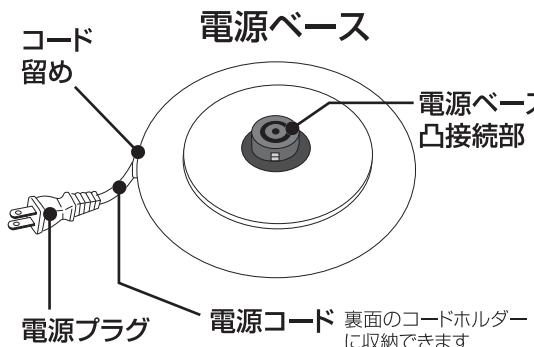
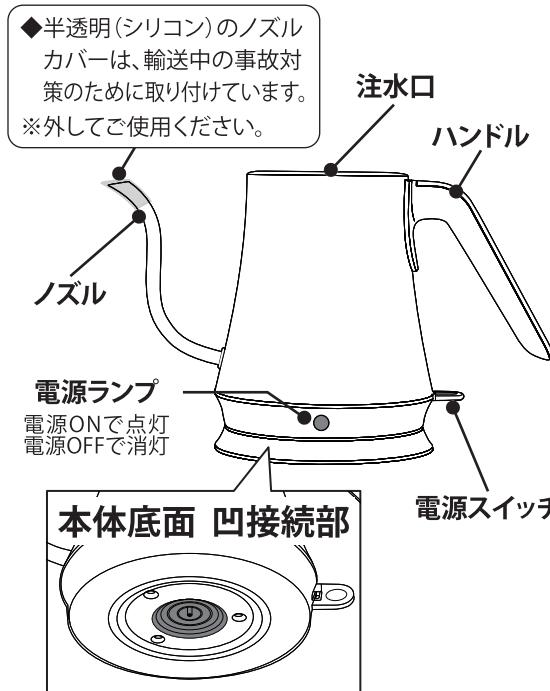
ケトルのMIN(0.3L)からMAX(1.0L)の範囲でお湯を沸かしてください。

空だき防止機能が働いて電源スイッチが切れたり、お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。

ケトルと電源ベースの接触端子部を確実に接觸させてください。  
接觸が不具合の場合、電源スイッチが入らなかったり、切れなかつたりします。故障の場合はお買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。

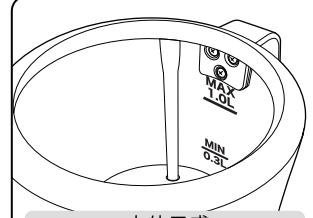
## 各部の名称

- 本製品は、ケトル本体と電源ベースの分離式になっています。
- 電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源ベースから、はずすと電源は自動的に切れます。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。  
安全装置の回復まで20分程必要とし、その間電源スイッチを入れてもランプは灯きません。
- 沸騰した際、「本体・ノズル・フタ」が高温になります。絶対に冷めるまでは直接触れないでください。
- 本製品に転倒防止機能は搭載されていないため、製品が倒れると熱湯がこぼれます。  
必ず安定した場所で使用してください。→熱湯がこぼれるとヤケドの原因になります。

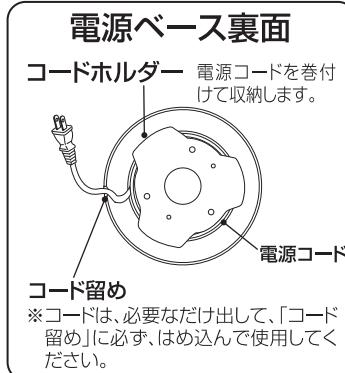


※蒸気口から高温の蒸気が発生します。絶対に手や顔を近づけないでください。  
→ヤケドや怪我の原因になります。

最大目盛 MAX(1.0L)まで



最小目盛 MIN(0.3L)まで



## 使い方

### 警 告



最大目盛(MAX 1.0L)以上の水を入れない

沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ハンドル以外の本体部など高温部にふれない

やけどの原因になります。お湯が湧いたときのケトル表面は、約80°C~90°Cになります。



ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしない。また、ぬれた場所に置かない。

ショート、感電、故障の原因になります。



●初めて使うときは、事前にケトル内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。

### お願い

※余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

※ケトルの最低目盛以下の水量を沸かさないでください。空だき防止機能が働いて自動的に電源スイッチが切れる場合があります。この場合は、ケトルを電源ベースからはずし、しばらく冷ましてください。

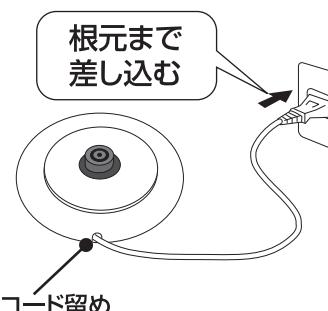
※本器は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけを沸かしてください。

### 1. 電源を接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。

根元までしっかりと入れてください。

電源ベースは水平に設置してください。



電源ベースは水平に設置します。

## 使い方(つづき)

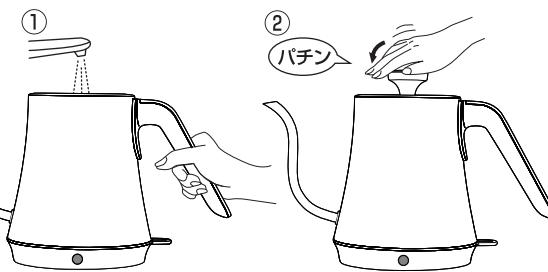
### 2.ケトルに注水する

注水は最大の目盛  
(max)まで!

①ケトル本体を電源ベースからはずし、新鮮な水を必要な量(0.3L~1.0L)だけ入れます。

②ふたをパチンと音がするまでしっかりと閉めます。

\*ふたをしっかりと閉めないと、沸騰してもスイッチが切れません。

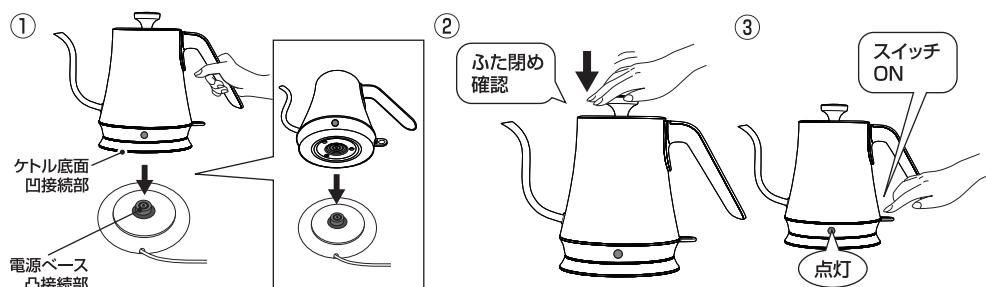


### 3.ケトル本体を電源ベースに載せ、電源を入れる

①水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。

②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。

③電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。



### 4.お湯が沸き、電源が切れる

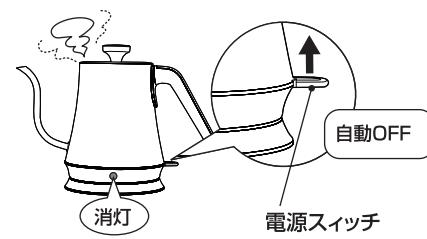
お湯が沸くと自動的に電源が切れます。  
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消えます)。

#### お湯が沸く前に電源を切る場合

電源スイッチを指で戻して、電源ランプが消えたことを確認する。

#### 連続して使用する場合

数分間、冷ましてから電源スイッチを押してください。



お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、およそ1Lで8分30秒程です。

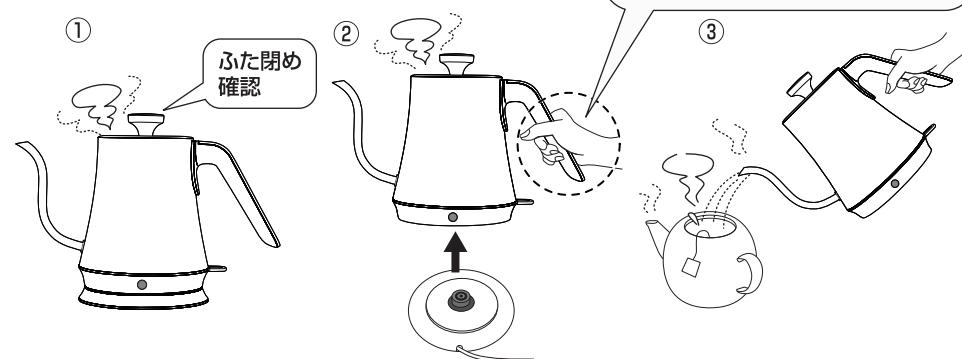
## 使い方(つづき)

### 5.お湯を注ぐ

#### お願い

お湯が湧いたときのケトルの表面は、約80°C~90°Cになります。  
湯沸かし中や、沸騰後はハンドル・フタつまみ以外は絶対に触らないでください。  
※やけどや重大な事故に繋がる恐れがあります。

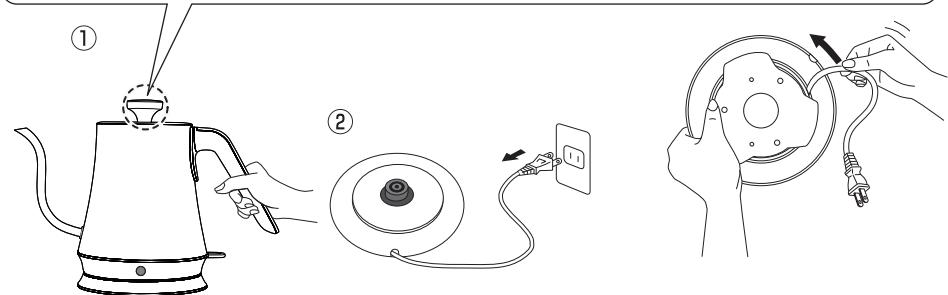
- ①ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ②ケトル本体を電源ベースからはずします。
- ③お湯を注ぎます。



### 6.使用後は

- ①残った水は残さず捨ててください。
- ②使用後はコンセントからACコードを抜き電源ベースに巻きつけます。

湯沸かし中・沸騰後はフタが熱くなっています。フタを開けるときはハンドルをしっかりと持ち、本体が動かないように固定してから、もう片方の手でフタつまみを握って外します。  
※つまみを握るときは、フタの熱い箇所に触れないように注意してください。



#### お願い

●残り湯は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因になります。

## お手入れ

### ！警 告



水ぬれ  
禁止

電源ベース、電源コード、電源  
プラグは、水に浸したり、水を  
かけたりしない。

ショート、感電、故障の原因になります。



冷えてから  
行う

お手入れは電源プラグをコン  
セントから抜き、冷えてから行  
う。

高温部に触るとやけどの原因にな  
ります。

- 日常、こまめにお手入れしてください。(9~11ページ)
- 長く使用しているとケトル内部に水アカや白い浮遊物などが付着します。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。(11ページ)

#### お願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤を使わないでください。においの原因になります。
- 容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

#### ケトル内部の水アカ(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。

衛生上問題はありませんが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。(11ページ)

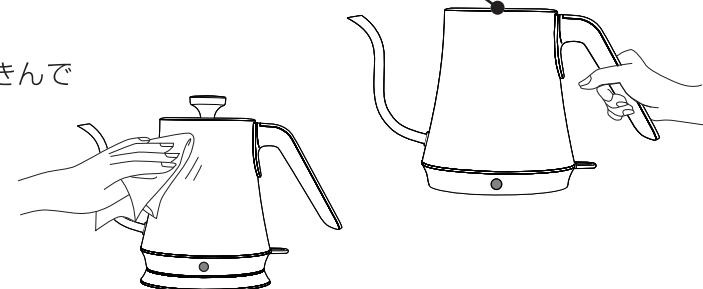
※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

## 日常のお手入れ

### ケトル内部

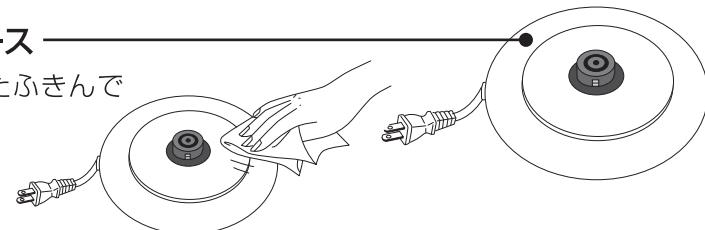
- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

よく絞ったふきんで  
ふきます。



### 電源ベース

よく絞ったふきんで  
ふきます。

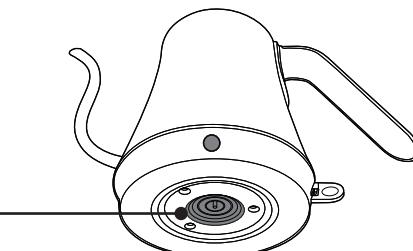


ケトル本体

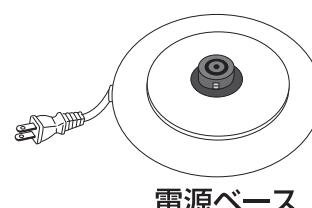
### <水洗いできません>

- ケトル本体下部、電源ベースには電源接続部などがあるのでケトル本体の内部以外は水洗いすることはできません。

ケトル底面  
凹接続部



電源ベース  
凸接続部



電源ベース

## 日常のお手入れ

ケトル内部の落ちにくい汚れを取るためにには

### クエン酸洗浄

※もしくは、ドラッグストアなどで販売されています「電気ケトル洗浄剤」をご使用ください。  
ご使用の際は、洗浄剤の説明書に従ってお使いください。

1. ケトル本体に最大水位目盛(MAX)まで水を入れ、約15gのクエン酸を入れて、ふたをする

### 2. ケトル本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる

- ①水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。
- ②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ③電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。

### 3. お湯が沸き、電源が切れる

- ・お湯が沸くと自動的に電源が切れます(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消える)。

沸騰後、約1時間放置する

### 4. ケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる

### 5. ケトル内部をよく水ですすぐ

### 6. クエン酸のにおいをとるため、水だけを最大水位目盛(MAX)まで入れて再度、沸騰させて、お湯を捨てる

・お湯の沸かしかた、捨てかたは上記2~4までをくりかえします。

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。  
●クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。  
●必ず、水から洗浄を始めてください。湯は入れないでください。  
●最大水位目盛(MAX1.0L)以上に水を入れないでください。  
●クエン酸洗浄後は電源ベースへの通電を止めます。

お願い

## このような時は

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は?	調べるところ	処置
湯が沸かない	電源ベースのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう	0.3Lに満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりしませんでしたか。 ケトルを空ださると、空だき防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れています、壁面がはがれたように見える	水アカが容器に付着したものがはがれたものです。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。が有毒ではありません。	容器をお手入れしてください。(9~11ページ参照)
湯沸かし時の音が大きくなる	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(9~11ページ参照)
電源スイッチが入らない	ケトルと電源ベースの端子接触部が正しく接触していますか。	接触を確実にする。(7ページ参照)
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかりと閉まっていると沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがってお調べいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

## 仕様(電源ベース含む)

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1000W
定格容量	1.0L
本体サイズ	(W)30.0×(D)14.5×(H)21.0cm
重量	約820g
コード長	約72.0cm

# MEMO

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

## ■保証書

- 保証書は取扱説明書の裏表紙下に付いています。
- 保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡しいたします。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から一年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保証期間は、製造打ち切り後5年です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または当社にご連絡をください。

なお、本体の故障や不具合により発生した付随的損害の責についてはご容赦ください。

## ■廃棄するときは

本機を破棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。保証期間中の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。また、保証期間が過ぎても修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。